

市町村名	読谷村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	読谷村陸上競技場北側植栽整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 世界に通用する観光人材の育成		
担当部課名	生涯学習課	事業実施 年度	平成 ~ 平成 30 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	スポーツキャンプの誘致のため、北風対策として読谷村陸上競技場北側に植栽を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H30年度	○年度	○年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	3,510				3,510	
	B. 執行済額	3,510				3,510	
	うち 交付金充当額	2,808				2,808	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	予定通りに実施設計の委託業務を発注し、事業を実施した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	○年度	○年度	○年度	
	読谷村陸上競技場北側の植栽を整備するための実施設計の実施	目標	実施設計の実施				
		実績	実施設計の実施				
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H30年度	○年度	○年度	○年度	
	実施設計の完了	目標	実施設計の完了				
		実績	実施設計の完了				
		目標					
		実績					

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		○年度	○年度	○年度	○年度	R2年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	【R2成果目標】 ・スポーツキャンプ誘致:8件	目 標					キャンプ誘致8件
	【今後のスケジュール】 H31 工事	実 績					キャンプ誘致0件
		目 標					
		実 績					

状況説明

【2年度】
・H31年度に工事を予定していたが、整備に係る工事費が高額なため、整備額の確保ができず実施できていない。

【 年度】
・

【 年度】
・

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【2年度】 ・実施設計は、完了したが整備に係る予算調整が出来ていないため、工事が実施できていない。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>	<p>【2年度】 ・予算調整を行い、実施時期の検討を行い、整備が行えるか検討が必要である。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>
--	---

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【2年度】
・関係課と調整を行い、他工事での残土を利用し、植樹をして整備する方向で検討を行う。
・キャンプの対応は、現状を説明し、了承いただける場合は、案内をして、そうでない場合は、別施設を案内していく。

【 年度】
・

【 年度】
・

市町村名	読谷村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	トリイ通信施設跡地「大木・大湾地区」区画整理事業調査事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章-3-(13)-ア 早期の事業着手に向けた取組	
担当部課名	建設整備部	都市計画課	事業実施 年度	平成 28	~ 平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-8
事業内容	トリイ通信施設跡地の跡地利用を図るため、トリイ通信施設跡地「大木・大湾地区」の区画整理事業に向けた施工地区の設定、区画整理基本設計、事業計画書の作成を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		平成28年度	平成29年度			合計	
	A. 予算現額	11,772	32,346			44,118	
	B. 執行済額	11,772	32,346			44,118	
	うち 交付金充当額	9,417	25,876			35,293	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%			100.0%	
執行状況の説明	計画通りの予算執行を行った。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			○年度	○年度	○年度	H28年度	H29年度
	トリイ通信施設跡地「大木・大湾地区」の跡地 利用手法を検討するための基本調査を実施	目標				基本調査報告 書の作成	
		実績				基本調査報告 書の作成	
	トリイ通信施設跡地「大木・大湾地区」の区画 整理事業に向けた区画整理事業調査を実施	目標					施行地区の設定 区画整理基本設計
		実績					施行地区の設定 区画整理基本設計
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			○年度	○年度	○年度	H28年度	H29年度
	基本調査の完了	目標				完了	
		実績				完了	
	区画整理事業調査の完了	目標					完了
		実績					完了
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R1年度	R2年度			R3年度 目標/発現年度
	地権者の合意形成を行い、区画整理事業に向け組合設立の認可を受ける。	目標	-	-		
	実績	-	-			組合設立の認可
	目標					
	実績					
状況説明	<p>【H30年度】 ・防衛局による支障除去作業の遅れにより引渡が行われていない。</p> <p>【R1年度】 ・令和元年5月に防衛局より跡地が引き渡された。</p> <p>【R2年度】 ・令和3年2月「大木南土地区画整理組合設立申請書」を読谷村に提出。地権者同意率100%を達成。</p>					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【H30年度】 ・防衛局の支障除去作業の遅れにより引渡が行われていない。</p> <p>【R1年度】 ・令和元年5月に防衛局より跡地が引き渡された。</p> <p>【R2年度】 ・令和3年2月「大木南土地区画整理組合設立申請書」を読谷村に提出。地権者同意率100%を達成。</p>	<p>【H30年度】 ・地権者の合意形成を図る。(総会の開催等)</p> <p>【R1年度】 ・令和3年度の認可に向け、引き続き地権者の合意形成を図る。(総会の開催等)</p> <p>【R2年度】 ・令和3年4月に読谷村より大木南土地区画整理事業計画が認可された。令和3年5月に大木南土地区画整理組合設立総会を開催。</p>
---	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【H30年度】 ・R3年度までに事業認可を受けるため、地権者の合意形成及び事業計画の作成を行う。事業計画については、基本設計をもとに関係機関と調整を行い、速やかに区画整理事業を施行出来るように努める。</p> <p>【R1年度】 ・R3年度までに事業認可を受けるため、引き続き地権者の合意形成及び事業計画の作成を行う。事業計画については、基本設計をもとに関係機関と調整を行い、速やかに区画整理事業を施行出来るように努める。</p> <p>【R2年度】 ・令和3年5月に大木南土地区画整理組合が設立したため成果目標を達成できた。今後仮換地を行い、本格的な事業の着手となる。令和6年度の事業完了を目指す。</p>

市町村名	読谷村							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	地産地消推進を図る生産施設設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
担当部課名	ゆたさむら推進部	農業推進課	事業実施年度	平成25	~ 平成29	年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)
事業内容	地産地消を推進するための栽培施設の設置に係る費用へ補助を行い、主に村内学校給食やファーマーズマーケット等への供給を図る							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H25~H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	合計		
	A. 予算現額	30,567	14,160	6,664	7,760	59,151		
	B. 執行済額	29,280	14,160	6,664	7,760	57,864		
	うち 交付金充当額	23,424	11,328	5,331	6,208	46,291		
	執行率(%) (B/A)	95.8%	100.0%	100.0%	100.0%	97.8%		
執行状況の説明	H26・29年度は、当初予定していた受益農家が耕作地を確保することができず、事業予定人数が減となった。最終的な執行率は97.8%となり、概ね計画的に執行できた。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	栽培施設設置	目標	実施	実施	実施	実施	実施	
		実績	実施	実施	実施	実施	実施	
		目標						
		実績						
	目標							
	実績							
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	栽培施設の設置	目標	5,600㎡	3,488.6㎡	2,480㎡	864㎡	1,487㎡	
		実績	3,438㎡	1,836㎡	2,412㎡	864㎡	1,026㎡	
	導入農家	目標	7農家	7農家	5農家	2農家	3農家	
		実績	7農家	3農家	5農家	2農家	2農家	
	目標							
	実績							

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	30年度	R1年度			R2年度 目標/発現年度	
	施設面積: 10.26a × 5作 = 51.3a 反収1,500kg/10a	目標	7.69t	7.69t	-	-	7.69t
		実績	5.93t	6.23t	-	-	6.36t
	目標						
	実績						
状況説明	<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培施設の設置により作物の安定生産を図り、概ね計画通りの収穫量を確保することができた。また、収穫物が村内ファーマーズマーケットへ出荷されることで地産地消が図られている。 <p>【R1年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度以上の収穫量があり安定生産が図られている。また、収穫物は継続して村内ファーマーズマーケットへ出荷されており地産地消につながっている。 <p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設栽培体系の確立によって安定生産が図られ、継続的に村内ファーマーズマーケットへの出荷を行うことができ、地産地消に取り組むことができた。 						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培施設の設置により、自然環境や病害虫の影響を受けにくい栽培環境が整備された。しかし、概ね計画通りの収穫量を達成できているものの、農家毎に実績のバラつきが見られることから、安定性を高めていく必要がある。 <p>【R1年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度以上の収穫量があり安定生産が図られている。 農家毎の実績のバラつきについては、ファーマーズマーケットの指導員による、農家毎の作付計画の作成、巡回指導、栽培講習会による技術指導等を行った。 <p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培技術向上に伴い年々生産量は増加してきている。 ファーマーズマーケットの指導員による巡回指導や栽培講習会等を行い、販売計画作成による安定出荷及び技術向上を図った。 			<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農家毎に実績のバラつきがあるため、全受益者が計画通り施設利用を図れるよう事業主体を中心に指導を行う。 <p>【R1年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部農家の作付回数を更に増やし施設利用率の向上を図ることで、計画以上の収穫量の確保に努める。 <p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各農家がさらに作付回数を増やすことで利用率向上を図り、生産量拡大を目指す。 				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き事業主体を中心に栽培施設の利用促進に努め、村内ファーマーズマーケット等へ収穫物を供給することで地産地消を推進する。 <p>【R1年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部農家の作付回数増により施設利用率の向上を図り、引き続き村内ファーマーズマーケット等へ収穫物を供給することで地産地消を推進する。 <p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の利用率向上により生産拡大を図り、村内ファーマーズマーケットへ安定出荷を継続することで今後も地産地消への取り組みを推進する。 							